

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立内部小学校

校長 山梨 裕子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

内部小学校では、地域とともに歩む学校づくりをめざして、これまで多くの地域の方々、諸団体、保護者の方々に様々な教育活動に参加し協力していただきました。コミュニティスクール（運営協議会）はこれらの団体や諸活動を全体的に捉え、活動内容や今後の方向について協議し、学校と地域、家庭との結びつきをさらに強めていくための提言をしていくことをめざします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**（1）教育活動の実践事例****地域団体による学習活動**

- 1年 昔の遊び（長寿会）
焼き芋体験活動（内部っ子はげまし隊）
- 2年 リース作り（内部っ子はげまし隊）
- 3年 ホタル学習（内部ホタルの会）
市民センター見学（地域コーディネーター）
地域探検（うつべ町かど博物館）
昔の暮らし（内部地区連合自治会長）
- 4年 剪定作業（内部っ子はげまし隊）
防災学習（内部地区自主防災協議会）
- 5年 内部の農業（地域農家・農園）
家庭科に係る体験学習（整理収納アドバイザー）
- 6年 戦争体験を聞く会（内部っ子はげまし隊）
竹トンボ活動（内部っ子はげまし隊）

**4～6年 クラブ活動指導**

グラウンドゴルフ・昔の遊び・ニュースポーツ・キッズ消防茶道・楽しい小物づくりの全6クラブは、内部長寿会・総合型地域スポーツクラブうつべ☆スター体育指導委員・内部地区自主防災協議会・地域住民のみなさん等のご協力を得て年間5回の活動を行っています。

**見守りボランティア**

内部地区三校二園PTA連絡協議会・通学路検討委員会では、自治会や地区市民センターとも情報共有し、子どもたちの安全対策を進めています。

また、通学路の安全確保や登下校指導では、内部学童見守り隊やPTA・各地区子ども会・住民ボランティアさんの協力を得ています。

ボランティア団体「おはなし mam さん」



読書週間には、全学年で「おはなし mam さん」による本の読み聞かせを年3回行っています。また、おすすめ本コーナーを作って本の紹介をしたり、季節ごとに図書室の飾りつけをしたりして、子どもたちが本により親しめるような活動を続けてもらっています。また、PTAふれあい委員の方々にも読み聞かせの体験をしていただき、興味を持たれた方には会員になってもらう働きかけも行っています。今後も様々な活動を模索し、より豊かな実践になるよう努めます。

おじいさんおばあさんありがとう集会

日常の温かいかわりだけでなく、上記のさまざまな学習活動を通し、児童は地域の方々に親しみをもつとともに、感謝の気持ちを強く抱いています。その感謝の気持ちを伝えようと、本校ではお世話になっている方々を招待して、「ありがとう集会」を行っています。集会に向けては、全校児童が一生懸命練習を重ね、感謝の気持ちを地域の方に伝えました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組みによる効果

運営協議会委員の方々に校内作品展、地域ゲストティーチャーによる授業、学校保健委員会、おじいさんおばあさんありがとう集会などたくさんの行事等を参観いただき、いろいろな場で委員が話をする場を設け、コミュニティスクール(運営協議会)についての理解を図りました。

「内部の子は内部で育てる」地域力を様々な学習活動において発揮することができました。運営協議会においても「内部つ子をまんなか」によりよい学校生活を過ごすことができる話し合いを重ねることができました。学校生活を振り返る児童アンケートでは、「自分のことを大切にしている」と肯定的に答えている児童が増えました。また、保護者アンケートでは、「学校は地域教材や人材・企業と連携する学習を積極的に取り入れていますか」の項目に対し、肯定的に評価した保護者の割合がとても高い結果となりました。学校と地域が強く結びついていることを理解、支持いただいています。

コミュニティスクール（運営協議会）が学校と地域、保護者のパイプ役となり、学校運営全体について助言や意見を述べることで、保護者の満足度も高まっています。

3 今後に向けて

コミュニティスクール（運営協議会）は授業参観や学校公開の機会、日常の学校・地域での様子をとらえ、教育活動に対する様々な意見や助言を行っています。コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みが地域や家庭に広く理解されるように情報発信に努め、保護者が教育活動に対して高い評価をするように下記の取り組みを進めます。

- ・ 運営協議会委員の協力を得ながら、学校ボランティアを組織し、さらに募集を行います。読書活動や学校環境整備についてサポートできる方を募集していきます。
- ・ 学校が地区の防災活動に参画していく方法や内容を検討していきます。
- ・ 中学校区三校合同運営委員会を行い、内部地区全体で児童生徒を育んでいけるように内部中学校区で連携を取りながら様々な行事に取り組んでいきます。

令和6年度 四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立内部小学校

委員長 渡邊 勝幸

校長 山梨 裕子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会（7日）	・委員委嘱 ・学校づくりビジョンの提案と承認 ・年間活動計画について ・児童の様子について
6		・（3年）ホタル教室（4日） ・樹木剪定（15日）
7	第2回 運営協議会（1日）	・三校（内部中、内部東小、内部小）合同開催 ・各校取組紹介・意見交換
8		
9		
10		・（2年）リースづくり（25日）
11	第3回 運営協議会（11日）	・運動会参観（3日） ・2学期の取組について ・児童の様子について ・授業参観
12		
1	第4回 運営協議会（30日）	・（6年）戦争の話を聞く会（20日） ・児童の様子について ・授業参観、学校保健委員会参加 ・学校関係者評価について
2	第5回 運営協議会（18日）	・（5年）整理収納・片付け学習（3・4日） ・学校関係者評価について ・本年度の活動報告と承認 ・次年度の方向性について ・おじいさんおばあさんありがとう集会（25日）
3		